



2020年4月30日

沖縄電力株式会社

## 2019年度決算について

### 1. 販売の状況

2019年度の販売電力量は、電灯・電力ともに、新規お客さまによる需要増があったものの、他事業者への契約切り替えによる需要減などにより、前年度を下回りました。

この結果、電灯と電力の販売電力量合計は、前年度に比べ1.8%減の73億16百万kWhとなりました。

### 2. 収支の状況

2019年度の収支の状況について、収入面では、電気事業においては、他社販売電力料や託送収益の増があるものの、販売電力量の減少および燃料費調整制度の影響により、売上高（営業収益）が減少しました。連結子会社においては、外部向け売上高が増加しました。この結果、売上高は前年度に比べ11億84百万円減（0.6%減）の2,042億96百万円となりました。

一方、支出面では、電気事業において、燃料費や減価償却費が減少したことから、営業費用は前年度に比べ60億68百万円減（3.0%減）の1,939億69百万円となりました。

この結果、営業利益は前年度に比べ48億83百万円増（89.7%増）の103億26百万円となりました。

また、営業外損益を含めた経常利益は40億90百万円増（78.4%増）の93億11百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は29億54百万円増（78.7%増）の67億5百万円となりました。

なお、当期の期末配当金については、1株につき30円を株主総会にお諮りし、中間配当とあわせて、1株につき年間60円を予定しています。

### 3. 連結業績見通し

2020年度の電力需要は、前年度に比べ1.2%減の72億27百万kWhを見込んでいます。

収入面については、電気事業において、燃料費調整制度の影響や販売電力量の減少による電灯電力料の減少が見込まれることから、売上高は前年度に比べ減少する見通しです。

一方、支出面については、電気事業において、燃料費や他社購入電力料などの減少が見込まれることから、営業費用は前年度に比べ減少する見通しです。

このような状況から、2020年度の業績については、売上高は1,918億円、営業利益は100億円、経常利益は93億円、親会社株主に帰属する当期純利益は70億円を見込んでいます。

別紙：決算の概要

以上

## 【決算の概要】

## ■販売電力量

(単位：百万 kWh)

	2018年度 (実績)	2019年度 (実績)	増減	増減率
電 灯	2,960	2,946	△14	△0.5%
電 力	4,493	4,370	△123	△2.7%
合 計	7,453	7,316	△137	△1.8%

## ■連結経営成績 (3年ぶりの減収増益)

(単位：百万円)

	2018年度 (実績)	2019年度 (実績)	増減	増減率
売 上 高	205,481	204,296	△1,184	△0.6%
営 業 利 益	5,443	10,326	+4,883	+89.7%
経 常 利 益	5,220	9,311	+4,090	+78.4%
親会社株主に帰属する 当期純利益	3,751	6,705	+2,954	+78.7%

## ■販売電力量見通し

(単位：百万 kWh)

	2019年度 (実績)	2020年度 (見通し)	増減	増減率
電 灯	2,946	2,880	△66	△2.2%
電 力	4,370	4,347	△23	△0.5%
合 計	7,316	7,227	△89	△1.2%

## ■連結業績見通し (売上高は2年連続の減収、経常利益は前年度並み)

(単位：百万円)

	2019年度 (実績)	2020年度 (見通し)	増減	増減率
売 上 高	204,296	191,800	△12,496	△6.1%
営 業 利 益	10,326	10,000	△326	△3.2%
経 常 利 益	9,311	9,300	△11	△0.1%
親会社株主に帰属する 当期純利益	6,705	7,000	+294	+4.4%